

千葉商科大学 公開講座 2021
【第4回】 「自然エネルギーを通じた地域価値の創造」

資料

一般社団法人 環境パートナーシップ会議 副代表理事
星野 智子

環境パートナーシップ会議（EPC）

環境パートナーシップ会議（EPC）は、地域の環境団体や、政策提言を行う環境NGOを支援し、企業や政府とつなぐこと（パートナーシップ）によって、課題を解決に導く新しい力を生み出すことを目的に活動している組織です。

（SDGs市民社会ネットワーク、日本NPOセンター正会員団体）

設 立：2006年12月

代表理事：廣野良吉（成蹊大学名誉教授）

住 所：東京都渋谷区神宮前5-53-67

U R L：http://www.epc.or.jp/

< E P C の主な事業 >

- 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)の運営
- SDGs情報サイト『サステナビリティCSOフォーラム』の運営
- SDGs達成のための連携推進事業
- 企業のCSR業務、自治体環境政策のコンサルティング
- 持続可能な開発のための教育（ESD）促進事業
- 国連生物多様性の10年日本委員会 事務局
- 政府の基金設置・管理事業

<パートナーシップ構築に向けた対話の場づくり>

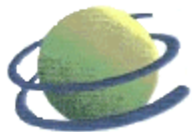
NGOと政府の意見交換会→



環境大臣への提言書提出↓



NGOミーティング



地球環境パートナーシッププラザ

Global Environment Outreach Centre (GEOC: ジオック)

<http://www.geoc.jp>

- 1996年10月に設立 地球環境に関する環境情報とパートナーシップの拠点 (渋谷区 国連大学1F)
- 環境省、国連大学、NPOの民間スタッフが共同で運営。
- NPO向け事業プロセス支援、企業や行政の環境取り組みや地域づくり支援、環境ビジネスモデル事業、環境団体のイベント情報ホームページ、メールマガジン発行、全国EPOネットワーク、環境政策に関するセミナー・シンポジウムの企画・開催、国連機関と連携した国際プロジェクトの実施などを行っています。
- 開館時間：火～金曜日 10:00-18:00 土曜日は17:00まで



展示



セミナー



研究・調査



ライブラリー

活動紹介

▼ カテゴリー別アーカイブ

- 国際事業
- 国内事業
- 関東EPO
- パートナーシップ調査
- その他

▼ 年度別アーカイブ

- 2020年度
- 2019年度
- 2018年度
- 2017年度
- 2016年度
- 2015年度

▼ 事業計画・報告書


GEOCの使い方

**セミナースペース
のご利用**

情報発信

 環境イベントデータベース
環境らしんばん
活動紹介

ソーシャルビジネス支援


一SDGs達成に向けた持続可能な循環共生型の社会づくり—地域循環共生圏

いいね! 2

ツイート



“地域循環共生圏”とは、各地域が美しい自然景観等の地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されるという考え方です。環境省では様々な施策で地域循環共生圏構築を目指しています。地域循環共生圏についてまとめたリーフレット（A4三つ折りデザイン）をこちらから>>ダウンロードいただけます

ローカルSDGsとしての地域循環共生圏構築

食料供給や水質浄化、防災、気候変動の緩和など、私たちの暮らしを支えているのは環境です。その環境を基に経済活動を行うことで豊かな社会がつけられます。「経済」は「社会」に、「社会」は「（自然）環境」に支えられており、環境・経済・社会の好バランスを図る地域循環共生圏構築に取り組むことで、結果としてSDGs（持続可能な開発目標）の達成につながります。



支えあう都市と農村漁村

まずは、各地域（都市や農山漁村等）が自然環境等への負荷をできる限り

地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)»活動紹介»—SDGs達成に向けた持続可能な循環共生型の社会づくり—地域循環共生圏»SDGsと地域循環共生圏の最新情報サイト

活動紹介

▼ カテゴリー別アーカイブ

[国際事業](#)
[国内事業](#)
[関東EPO](#)
[パートナーシップ調査](#)
[その他](#)

▼ 年度別アーカイブ

[2020年度](#)
[2019年度](#)
[2018年度](#)
[2017年度](#)
[2016年度](#)
[2015年度](#)

▼ 事業計画・報告書


[GEOCの使い方](#)

[セミナースペースのご利用](#)

[情報発信](#)

[環境イベントデータベース
環境らしんばん](#)
[活動紹介](#)

[ソーシャルビジネス支援](#)


SDGsと地域循環共生圏の最新情報サイト

いいね! 4

ツイート

SDGsと地域循環共生圏の最新情報サイト >>>

地域循環共生圏

省庁や国際機関、民間団体のSDGs情報、地域循環共生圏創造に関する情報を発信します。

NEW! 2021年8月4日 【SDGs関連】

■ 統合的気候モデル高度化研究プログラム 公開シンポジウム「気候は今 どうなっている? どうなっていく?: IPCC最新報告書を読み解く」オンライン開催のお知らせ

NEW! 2021年8月3日 【SDGs関連】

■ 再エネを日本の主力エネルギーに! 「FIP制度」が2022年スタート

NEW! 2021年7月30日 【地域循環共生圏関連】

■ 「しる」ページの「環境省presents SDGsローカルツアー」に第1回から第9回の動画を掲載しました。

NEW! 2021年7月29日 【SDGs関連】

■ 「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」の設立について

NEW! 2021年7月29日 【SDGs関連】

(一社)SDGs市民社会ネットワーク

SDGsの達成をめざして行動するNGO/NPO
など市民社会組織が中心となって設立



<目的> 「誰一人取り残さない」というSDGsの理念に則り、全ての人々が、貧困がもたらす生命や生活の危機及び社会的排除から解放され、人間として尊厳をもっていきることのできる、経済（E）・社会（S）・環境（E）の三側面が統合された持続可能な世界の実現に寄与すること。

<事業> (1) SDGs達成のための政策提言
(2) SDGsの広報・普及啓発
(3) 市民社会と民間企業、政府、研究機関、国際機関などとの連携の強化や問題解決策の提示
(4) SDGs達成のための調査・研究など

<沿革> 2013年：ポスト2015NGOプラットフォームとして設立
2016年4月に任意団体として組織再編
2017年2月27日に一般社団法人化 現在140団体で構成

(一社)SDGs市民社会ネットワーク

代表理事	大橋 正明	聖心女子大学
	三輪 敦子	(一社)アジア・太平洋人権情報センター
理事	今田 克司	(一財)CSOネットワーク
	星野 智子	(一社)環境パートナーシップ会議
	長島 美紀	(特活)Malaria No More Japan
	大谷 美紀子	弁護士 (大谷&パートナーズ法律事務所)
	石原 達也	(特活)岡山NPOセンター
	倉石 東那	Japan Youth Platform for Sustainability
	中西 由起子	(認定NPO法人)ディーピーアイ日本会議
	新田 英理子	(一社)SDGs市民社会ネットワーク事務局長
	伊藤 治郎	日本生活協同組合連合会
監事	浅見 哲	税理士/日本サステナブル・ラベル協会 監事
	田中 徹二	グローバル連帯税フォーラム

- HLPFは、SDGsの進捗を各国政府が報告し、関連する様々な課題についてのレビューが行われる機会
- 今年は日本政府が2回目となるSDGs実施報告書「自発的国別レビュー（（VNR: Voluntary National Review））」を発表
- これに対し、市民社会からの提言として「スポットライトレポート」を作成。政府の報告書とは異なる、市民社会からの国連に向けたSDGs達成に向けた取組の評価レポート
- データ統計、プロセス、新型コロナウイルス感染症、パートナーシップなどについて言及

【SDGs達成度ランキング】

日本は165カ国中18位で1ランクダウン データ整備にも課題

JAPAN

OECD Countries

OVERALL PERFORMANCE

COUNTRY RANKING

Japan
18 / 165

COUNTRY SCORE



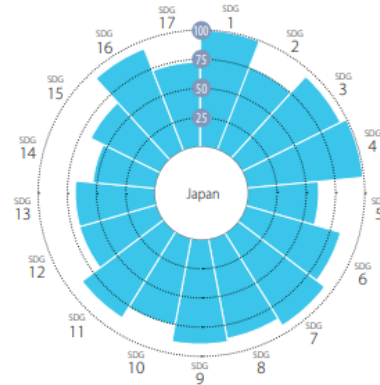
REGIONAL AVERAGE: 77.2

STATISTICAL PERFORMANCE INDEX

0 (WORST) TO 100 (BEST)



AVERAGE PERFORMANCE BY SDG



※ゴール7(エネルギー)
再生可能エネルギーの割合に
ついては赤点

SDG DASHBOARDS AND TRENDS



■ Major challenges
 ■ Significant challenges
 ■ Challenges remain
 ■ SDG achieved
 ■ Information unavailable
↓ Decreasing
 → Stagnating
 ↗ Moderately improving
 ↑ On track or maintaining SDG achievement
 ● Information unavailable

■SDGs達成状況が上位の国

順位 (カッコ内は前年)	国名	点数	順位 (カッコ内は前年)	国名	点数
1 (3)	フィンランド	85.9	11 (9)	オランダ	81.6
2 (1)	スウェーデン	85.6	12 (8)	チェコ	81.4
3 (2)	デンマーク	84.9	13 (14)	アイルランド	81.0
4 (5)	ドイツ	82.5	14 (19)	クロアチア	80.4
5 (11)	ベルギー	82.2	15 (23)	ポーランド	80.2
6 (7)	オーストリア	82.1	16 (15)	スイス	80.1
7 (6)	ノルウェー	82.0	17 (13)	英国	80.0
8 (4)	フランス	81.7	18 (17)	日本	79.8
9 (12)	スロベニア	81.6	19 (27)	スロバキア	79.6
10 (10)	エストニア	81.6	20 (22)	スペイン	79.5

※アメリカ32位、中国57位

9月25日のSDGs採択日を記念して作られた世界初?!のSDGsケーキ。
日本で取り組みが不十分と言われている5つのゴールを抜き出した映像が制作・公開されました。 <https://www.sdgs-japan.net/post/0930sdgscake>



@VEGEFORPEACE

国連新目標：SDG s (Sustainable Development Goals)

- 2015年9月、国連にて全加盟国の賛同により採択
- 先進国・途上国すべての国を対象とする普遍的なもの。
- SDGs提案の背景：人間の生存はあくまで健全な地球環境が基盤。持続可能性の観点を開発目標に組み込む必要性。 **(サステナビリティの追究)**
- 17テーマ、169項目で構成。
(多くの意見を反映)
- 5P (人間、豊かさ、地球、平和、
パートナーシップ)
- **誰一人取り残さない。**
Leave no one behind.



我々の世界を**変革**する ～Transforming our world～ 持続可能な開発のための2030アジェンダ

前文) すべての国及び**すべてのステークホルダー**は、協同的な**パートナーシップ**の下、この計画を実行する。我々は、人類を貧困の恐怖及び欠乏の専制から解放放ち、地球を癒やし安全にすることを決意している。我々は、世界を持続的かつ強靱（レジリエント）な道筋に移行させるために緊急に必要な、**大胆かつ変革的**な手段をとることに決意している。我々はこの共同の旅路に乗り出すにあたり、**誰一人取り残さない**ことを誓う。

